

横浜水道中期経営計画（令和 6 年度 ～ 9 年度）の進捗状況について

水道局では、令和6年3月に「横浜水道中期経営計画（令和6年度～9年度）」（以下「本計画」という。）を策定し、これに基づき事業運営を推進しています。

今回、本計画の初年度にあたる令和6年度の主な進捗状況について、報告します。

1 横浜水道中期経営計画の位置付け

水道局では、持続可能な水道事業と工業用水道事業の経営を行うため、20年から30年後を想定し、市民や事業者の皆様と共有すべき将来像とその実現に向けた取組の方向性を示した「横浜水道長期ビジョン」を平成28年3月に策定しました。

横浜水道中期経営計画は、長期ビジョンで描いた将来像を具体化するための4か年の実施計画です。

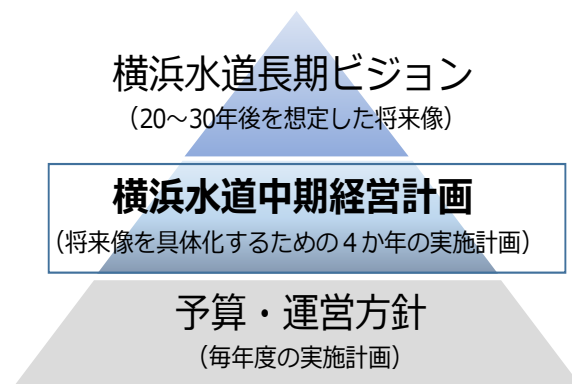


図1 中期経営計画の位置付け

2 横浜水道中期経営計画の目指す姿

本計画では、将来を見据えた水道システム再構築による施設の最適化、効率的・効果的な執行体制の構築や業務効率化による運営体制の最適化など、「水道事業の最適化」に向けて事業を推進し、持続可能な事業運営を目指すこととしています。

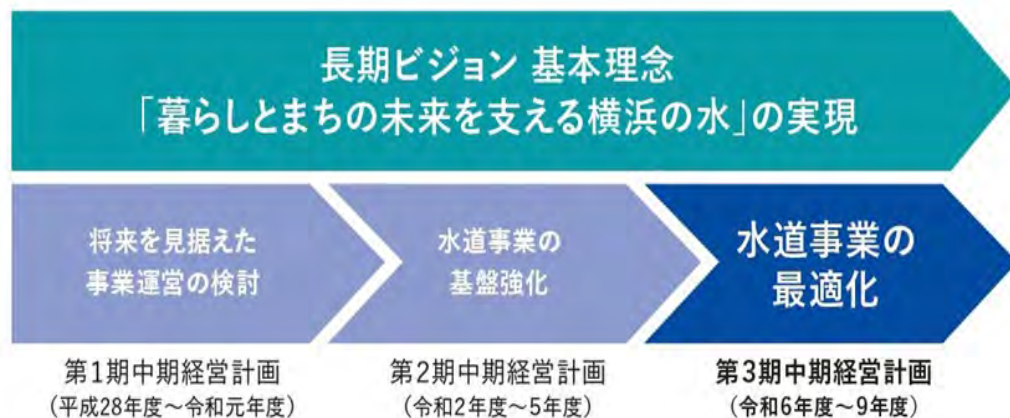
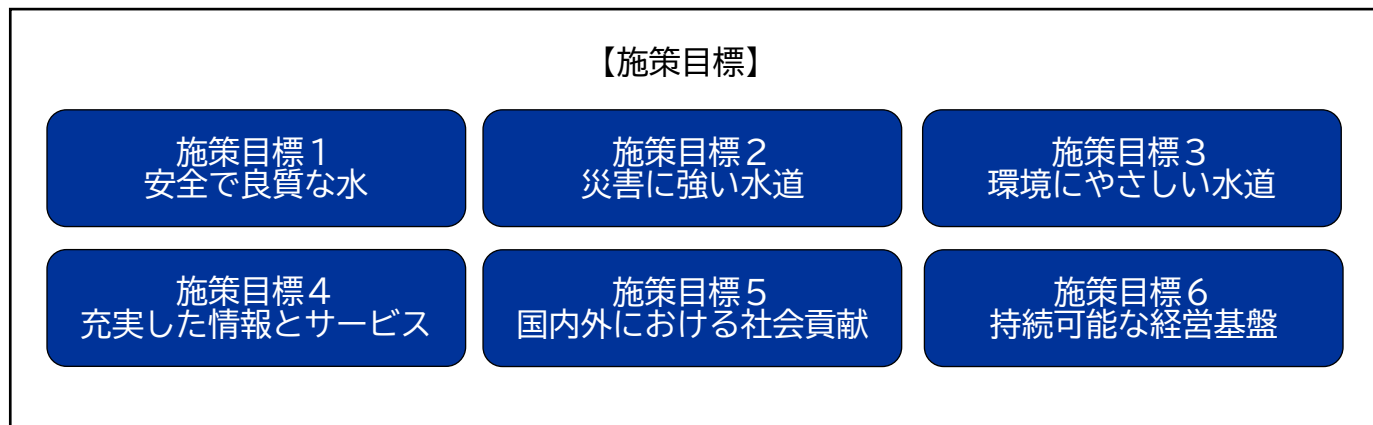


図2 長期ビジョンと中期経営計画の構成

2 横浜水道中期経営計画の目指す姿

(1) 施策目標

本計画は、長期ビジョンの基本理念である「暮らしとまちの未来を支える横浜の水」の実現のため、次の6つの施策目標を掲げ、目標達成に必要な事業を推進しています。



2 横浜水道中期経営計画の目指す姿

(2) 取組にあたっての視点

主要事業に取り組む際に重視する5つの視点を明確にしています。

特に、「横浜市中期計画 2022-2025」の基本姿勢に掲げるDXの推進や脱炭素社会の実現についても、水道局として重視する視点に位置付けています。

経済性と
公共性の
発揮

SDGs
達成への
貢献

多様な
主体との
連携

DXの
推進

脱炭素
社会の
実現

2 横浜水道中期経営計画の目指す姿

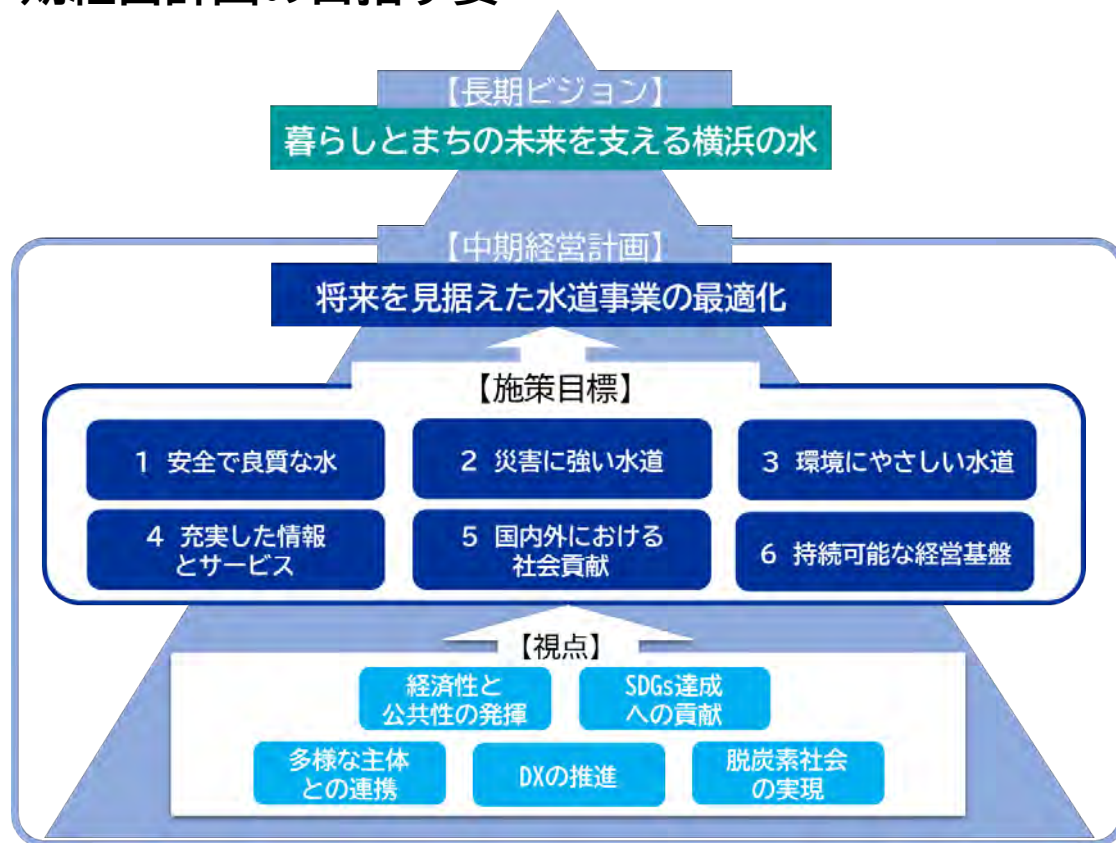


図3 本計画の施策体系

3 本計画（令和6年度～9年度）の主要事業等の進捗状況

各施策目標には、計画期間の4年間の目標値を示す指標と、施策を進めるための主要事業及び想定事業量を掲げ、進捗管理に活用しています。

【R6年度主要事業等進捗状況】

進捗状況		主要事業（44事業）	
		想定事業量（92項目）※重複（6項目）含む	割合（％）
目標・想定を上回ったもの	◎	<u>5項目</u>	5.4
おおむね目標・想定どおりのもの	○	<u>73項目</u> ※重複（2項目）含む	79.3
目標・想定を下回ったもの	△	<u>10項目</u> ※重複（4項目）含む	10.9
現時点で評価できないもの	—	<u>4項目</u>	4.3

3 本計画（令和6年度～9年度）の主要事業等の進捗状況 （水道事業）

施策目標1 安全で良質な水

指標名	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績
浄水場出口における 「水質管理値」の達成率	100% （R5年度末見込み）	100% （毎年度）	100%

施策1 水源保全

主要事業1 道志水源林の保全					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
①水源林の整備面積	305ha （R2年度～R5年 度末見込み）	230ha （R6年度～R9年度）	57ha	「道志水源林プラン（第十一期）」に基づき、57haの整備が完了	○
②ドローンを活用した被害調査	—	被害状況の把握	被害状況調査	ドローンを活用した調査を実施し、ナラ枯れ1,627本の被害木を確認	○
③ナラ枯れの抑制（くん蒸処理）	1,600本/年	1,500本/年	1,360本/年	前年度調査分（1,008本）及び当年度分の一部（352本）を処理	○

3 本計画（令和6年度～9年度）の主要事業等の進捗状況

施策目標1 安全で良質な水

施策2 水安全計画に基づく水質管理

主要事業2 水源水質の変化への対応					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
青山活性炭注入設備の運用	設置・運用（R5年度～）	かび臭物質濃度(3ng/L以下)の遵守(通年)	かび臭物質濃度(3ng/L以下)の遵守	活性炭注入により3ng/L以下を遵守	○
		活性炭注入設備の最適な運用方法の検討・実施	かび臭物質の除去効果の確認、最適注入率の検討	活性炭の除去効果及び効率的な運用に向けたデータの収集	
主要事業3 水質管理体制の維持・強化					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
①ISO 9001に基づく浄水処理	ISO 9001の認証継続	ISO 9001の認証継続	ISO 9001の認証継続	ISO9001認証維持審査により認証継続	○
②水道GLPに基づく高精度の水質検査	水道GLPの認定継続	水道GLPの認定継続	国等の精度管理試験を実施	認定継続に必要な外部精度管理による技能評価を実施	○
③有機フッ素化合物の測定回数 (3浄水場の原水)	合計12回/年	合計32回以上/年 ・川井浄水場(道志川系統)：4回/年 ・西谷浄水場(相模湖系統)：4回/年 ・小雀浄水場(馬入川系統)：24回/年	合計32回/年	川井浄水場4回、西谷浄水場4回、小雀浄水場24回の合計32回の測定を行い、全てで不検出	○
④有機フッ素化合物の測定可能項目数 (3浄水場の原水)	3項目	15項目	15項目	水質検査方法の妥当性評価を実施し、有機フッ素化合物15項目が測定可能であることを確認	○

3 本計画（令和6年度～9年度）の主要事業等の進捗状況

施策目標1 安全で良質な水

施策2 水安全計画に基づく水質管理

主要事業4 西谷浄水場の再整備					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
①浄水処理施設の整備	工事中	工事(継続) 耐震化・処理能力増強 ：R10年度完了予定 粒状活性炭処理導入 ：R14年度完了予定	設計・施工	・沈でん池の改良工事や、ろ過池新設のための旧配水池の解体工事等の実施 ・浄水場敷地内のレンガ混じり土砂対応のため、工事完了時期を見直し(耐震化・処理能力増強：R10年度→R12年度、粒状活性炭処理導入：R14年度→R16年度)	△
②排水処理施設の整備	工事中	工事完了 (R9年度)	施工	排水池、脱水機棟、受電・自家発電棟の築造工事の実施	○
③導水管の整備	工事中	工事完了 (R9年度)	施工	・シールド掘進や立坑築造工の実施 ・地盤性質への対応等のため、工事完了時期を見直し(R9年度→R12年度)	△

3 本計画（令和6年度～9年度）の主要事業等の進捗状況

施策目標1 安全で良質な水

施策3 直結給水の促進

主要事業5 直結給水の促進					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
直結給水の促進に向けた取組	直結給水への切替の広報・相談の実施	直結給水への切替の広報・相談の実施	直結給水への切替の広報・相談の実施	直結給水への切替の広報・相談の継続実施	○
主要事業6 子どもたちが水道水を飲む文化を育む事業					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
直結化工事に対する助成（教育委員会事務局からの依頼に対する助成率）	100% （R2年度～R5年度未見込み）	100% （R6年度～R9年度）	100%	教育委員会事務局が実施した直結化工事のうち、4校へ助成	○

3 本計画（令和6年度～9年度）の主要事業等の進捗状況

施策目標2 災害に強い水道

指標名	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績
導水施設の耐震化率	69% (R5年度末見込み)	72% (R9年度)	69%
送配水管の耐震管率 (全口径)	33% (R5年度末見込み)	37% (R9年度)	34%

3 本計画（令和6年度～9年度）の主要事業等の進捗状況

施策目標2 災害に強い水道

施策4 水道施設の更新・耐震化

主要事業7 基幹施設の更新・耐震化					
想定事業量		計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況
①相模・横浜ずい道耐震補強		耐震診断の実施	耐震化の方針決定（R9年度）	耐震診断完了	耐震診断結果に基づいて、耐震化の方針の検討 ○
②西谷浄水場の再整備	浄水処理施設の整備（再掲）	工事中	工事（継続） 耐震化・処理能力増強 ：R10年度完了予定 粒状活性炭処理導入 ：R14年度完了予定	設計・施工	・沈でん池の改良工事や、ろ過池新設のための旧配水池の解体工事等の実施 ・浄水場敷地内のレンガ混じり土砂対応のため、工事完了時期を見直し（耐震化・処理能力増強：R10年度→R12年度、粒状活性炭処理導入：R14年度→R16年度） △
	排水処理施設の整備（再掲）	工事中	工事完了（R9年度）	施工	排水池、脱水機棟、受電・自家発棟の築造工事の実施 ○
	導水管の整備（再掲）	工事中	工事完了（R9年度）	施工	・シールド掘進や立坑築造工の実施 ・地盤性質への対応等のため、工事完了時期を見直し（R9年度→R12年度） △
③峰配水池耐震補強		整備方針決定	設計完了（R9年度）	検討	R7年度の設計着手に向けた検討 -
④（仮称）高塚から上飯田線ループ管新設工事		施工中	工事完了（R7年度）	施工	・試掘やボーリング調査の完了 ・他企業等との調整の結果、施工方法を見直したため、工事工程が変更となり、工事完了時期を見直し（R7年度→R8年度） △
⑤ポンプ場等監視制御設備の更新		8か所（R2年度～R5年度未見込み）	10か所（R6年度～R9年度）	2か所	2か所完了（高塚配水池、峰配水池） ○

3 本計画（令和6年度～9年度）の主要事業等の進捗状況

施策目標2 災害に強い水道

施策4 水道施設の更新・耐震化

主要事業8 送配水管の更新・耐震化					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
① <u>鋳鉄管(CIP)の更新・耐震化</u>	72 km (R2年度～R5年度 未見込み)	40 km程度※ (R6年度～R9年度)	8 km	当初予定 7kmを上回る 8 kmの更新・耐震化工事の実施	○
② <u>送配水本管（主に口径400mm以上）の更新・耐震化</u>	10 km (R2年度～R5年度 未見込み)	20 km程度※ (R6年度～R9年度)	2.4 km	・当初予定3.6kmに対し、2.4kmの更新・耐震化工事の実施 ・工事費高騰及び入札不調により、一部の工事について、施工時期を見直し	△
③ <u>重要拠点施設につながる管路の耐震化実施数</u>	40施設 (R2年度～R5年度 未見込み)	40 施設 (R6年度～R9年度)	7 施設	・当初予定8施設に対し、7施設につながる管路の耐震化を実施 ・他企業埋設管の輻輳によりルートの変更が生じ、一部の工事について、完了時期を見直し	△
主要事業9 給水管の更新・耐震化					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
給水管の更新・耐震化件数	約1,600件/年 (R2年度～R5年度 平均)	1,500件/年	1,439件/年	・老朽給水管改良促進事業：652件 ・配水管布設替工事に伴う給水管取付替：787件	○

※一部、令和10年度以降に継続する工事が含まれます。

3 本計画（令和6年度～9年度）の主要事業等の進捗状況

施策目標2 災害に強い水道

施策5 災害対応力の強化

主要事業10 他都市等との連携強化					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
①日本水道協会合同 防災訓練等	13回 (R2年度～R5年度 未見込み)	15回 (R6年度～R9年度)	4回	情報伝達訓練及び防災訓練の実施	○
②名古屋市との合同 防災訓練等	10回 (R2年度～R5年度 未見込み)	12回 (R6年度～R9年度)	2回	協定に基づく合同防災訓練の実施及び局防災訓練の 相互参加 (年3回実施予定のうち1回を台風の影響により中止)	○
主要事業11 災害時の通信体制強化					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
5GHz帯無線通信 システム導入庁舎数	8庁舎 (R5年度末)	16庁舎 (R9年度末)	13庁舎	無線通信設備を5庁舎に導入	○

3 本計画（令和6年度～9年度）の主要事業等の進捗状況

施策目標2 災害に強い水道

施策6 災害時の迅速な応急給水・応急復旧に向けた取組

主要事業12 耐震給水栓の整備					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
耐震給水栓整備 箇所数	36か所 （R2年度～R5年度 未見込み） （累計48か所）	27か所 （R6年度～R9年度） （累計75か所）	5か所	耐震給水栓を5か所の地域防災拠点に設置	○
主要事業13 民間企業等との連携					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
①管工事協同組合への 応急給水施設及び 応急給水装置等の保 守点検委託	市内全ての応急給水 施設552か所で 点検実施 （R5年度未見込み）	市内全ての応急給水施設 552か所※で点検実施 （毎年度）	551か所	市内全ての応急給水施設で点検実施	○
②防災訓練への管工 事協同組合の参加か 所数	160か所 （R5年度未見込み）	160か所/年	155か所/年	地域防災拠点において応急給水訓練を155か所で 実施	○
③災害拠点病院・救 急告示医療機関での 応急給水訓練の実施	全ての病院で 訓練実施 （R2年度～R5年度 未見込み）	全ての病院で 訓練実施※ （R6年度～R9年度）	14回	応急給水の手順等を確認する訓練の実施	○
④民間企業と連携し た防災訓練等の実施	16回 （R5年度未見込み）	16回/年	18回/年	災害時の応急給水や応急復旧等の協力体制の実効性 を高めるための訓練等の実施	○

※災害拠点病院・救急告示医療機関数は年度によって変動

3 本計画（令和6年度～9年度）の主要事業等の進捗状況

施策目標3 環境にやさしい水道

指標名	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績
V V V F制御方式に更新するポンプ場における電力原単位※	0.187kWh/m ³ （R4年度末）	0.170kWh/m ³ （R9年度）	0.187kWh/m ³

※電力原単位：水道水1立方メートルを配水するのに必要な電力量のこと

施策7 自然流下系施設の整備

主要事業14 西谷浄水場の再整備					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
①浄水処理施設の整備（再掲）	工事中	工事（継続） 耐震化・処理能力増強 ：R10年度完了予定 粒状活性炭処理導入 ：R14年度完了予定	設計・施工	・沈でん池の改良工事や、ろ過池新設のための旧配水池の解体工事等の実施 ・浄水場敷地内のレンガ混じり土砂対応のため、工事完了時期を見直し（耐震化・処理能力増強：R10年度→R12年度、粒状活性炭処理導入：R14年度→R16年度）	△
②排水処理施設の整備（再掲）	工事中	工事完了 （R9年度）	施工	排水池、脱水機棟、受電・自家発電棟の築造工事の実施	○
③導水管の整備（再掲）	工事中	工事完了 （R9年度）	施工	・シールド掘進や立坑築造工の実施 ・地盤性質への対応等のため、工事完了時期を見直し（R9年度→R12年度）	△

3 本計画（令和6年度～9年度）の主要事業等の進捗状況

施策目標3 環境にやさしい水道

施策8 省エネルギー化に向けた取組

主要事業15 エネルギーの効率化を目指した施設整備（VVF制御方式への変更）					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
VVF制御方式 ポンプへの更新	3か所 （R2年度～R5年度） （累計17か所）	2か所 （R6年度～R9年度） （累計19か所）	1か所	1か所完了（鶴ヶ峰配水ポンプ場）	○
主要事業16 高効率モータ使用機器への更新による省エネルギー化					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
送排風機の高効率 モータ使用機器への 更新台数	3台 （R2年度～R5年度） （累計6台）	38台 （R6年度～R9年度） （累計44台）	10台	10台の更新完了	○
主要事業17 LED等高効率照明の導入					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
LED等高効率照明の 導入率	22% （R4年度末）	90% （R9年度末）	32% （R6年度予定）※	5施設で合計約350灯のLED等高効率照明を導入	－
主要事業18 次世代自動車等の導入					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
次世代自動車等の 導入率	8% （R4年度末）	67% （R9年度末）	28% （R6年度見込）※	・ R6年度導入台数：38台（軽貨物EV3台、小型貨物HV32台、普通貨物HV2台、小型乗用HV1台） ・ 累計：84台/294台	－

※R6年度の実績値については、今後エネルギーカルテシステムで集計され、10月頃公表予定

3 本計画（令和6年度～9年度）の主要事業等の進捗状況

施策目標3 環境にやさしい水道

施策9 再生可能エネルギーの活用

主要事業19 太陽光発電設備等の導入促進

想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
太陽光発電設備 の導入	4か所 （R5年度末） （累計4か所）	新設2か所 増設2か所 （R6年度～R9年度） （累計6か所）	導入可能性調査 の実施	太陽光発電設備の導入可能性調査の実施	○

施策10 水源林保全の取組

主要事業20 市民ボランティアによる民有林整備の支援

想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
ボランティア 参加人数	1,656人 （R2年度～R5年度 未見込み）	2,600人 （R6年度～R9年度）	752人	道志村民有林の間伐活動に752人参加	○

3 本計画（令和6年度～9年度）の主要事業等の進捗状況

施策目標4 充実した情報とサービス

指標名	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績
お客さま満足度 （水道事業全般）	88.4% （R4年度）	90% （R8年度）	—

施策11 「伝わる」広報の展開

主要事業21 市民ニーズ等を踏まえた情報発信					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
①広報印刷物の発行	発行	発行	発行	広報よこはま区版へ各種記事の掲載、「横浜水道ガイド」等の発行	○
②ウェブサイト・SNSでの情報発信	310回 （R5年度 未見込み）	340回/年	583回/年	能登豪雨派遣など局内事業についてSNS等で情報発信	◎

3 本計画（令和6年度～9年度）の主要事業等の進捗状況

施策目標4 充実した情報とサービス

施策11 「伝わる」広報の展開

主要事業22 水道施設や工事現場の見学等の充実					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
①水道水質の安全性に関する情報提供	ウェブサイト等での情報提供	ウェブサイト等の内容の充実 イベント等での安全性のPR	ウェブサイト内容の充実 イベント等での安全性のPR	水道水質のウェブサイトの見直し、水質に関するQ&Aの拡充などを実施 水道週間イベント及びはまっ子水道まつりでの安全性のPR	○
②浄水場等の見学	現場見学・説明	見学者のニーズを踏まえた見学プログラムの拡充	見学プログラムの改善	見学者（小学校）のニーズに合わせたプログラムの改善	○
③水道施設の更新工事における現場見学会	10回 （R2年度～R5年度）	34回 （R6年度～R9年度）	9回	老朽管更新工事(5回)、ポンプ設備更新工事(1回)、西谷浄水場再整備(3回)の現場見学会の実施	○
④水源地の魅力を知ってもらうための取組	実施内容検討	実施に向けた調整（R6年度） 水源地視察ツアー1回/年 （R7年度～R9年度）	コース概要の作成	R7年度実施に向けた事業概要の決定 （見学コース：道志水源林、青山水源事務所等）	○
主要事業23 給水スポット設置による水道水のPR					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
給水スポットの設置	—	4か所 （R6年度～R9年度）	2か所	・野毛山動物園：R6年7月設置 ・横浜役所1階アトリウム：R7年3月設置	○

3 本計画（令和6年度～9年度）の主要事業等の進捗状況

施策目標4 充実した情報とサービス

施策12 時代のニーズを捉えたサービスの推進

主要事業24 水道に関する情報照会や手続きのオンライン化の拡充					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
①ウェブページの申請画面の改善	—	実施 (R6年度完了)	実施	口座申込：受付サービス入力フォームの配置等の改善	○
②オンライン申請の拡充	口座振替申込 (R5年度導入予定)	漏水に伴う 使用水量認定申請 (R6年度完了) 水道料金減免申請関係 (一部) (R7年度完了)	漏水に伴う 使用水量認定申請 のオンライン化 水道料金減免 申請関係（一部） のオンライン化	「漏水に伴う使用水量認定」のオンライン受付を開始（R7年3月） 水道料金減免（ひとり親家庭等医療費助成世帯）のオンライン申請受付を開始（R6年4月）	○
③AIチャットボットによる問い合わせ	一部の問い合わせのみ	対応可能な内容を拡充	実施	横浜市チャットサポートにおいて水道に関する案内（主に料金関連）を開始（R6年12月）	○
④検針票・請求書のペーパーレス化	—	一部試行	調査・検討	スマートメーター導入に合わせたペーパーレス化の検討	○

3 本計画（令和6年度～9年度）の主要事業等の進捗状況

施策目標4 充実した情報とサービス

施策12 時代のニーズを捉えたサービスの推進

主要事業25 スマートメーターの導入に向けた取組					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
①第1次モデル事業	運用開始・効果検証	自動検針の効果検証	運用検証	自動検針システムによる検針業務の継続	○
②第2次モデル事業	方針策定	準備(R6年度) 運用開始(R7年度～) 効果検証(R8年度～)	準備(プレフィールドテスト等)	プレフィールドテスト(水道事務所等の局施設における通信試験)の実施、水道スマートメーターの調達準備	○
③東京都・大阪市との3都市連携	仕様の共通化と利活用の検討	仕様の共通化と利活用の検討	情報共有・意見交換	3都市会議の実施	○

3 本計画（令和6年度～9年度）の主要事業等の進捗状況

施策目標5 国内外における社会貢献

指標名	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績
国際技術協力や海外水ビジネスをテーマにしたセミナー等の開催数	36回 （R2年度～R5年度末見込み）	40回 （R6年度～R9年度）	8回
水道局発注工事における平準化率 （4月～6月の月平均稼働工事件数 /年度の月平均稼働工事件数）	0.80 （R4年度）	0.85 （R9年度末）	0.82

施策13 国内外水道事業への支援

主要事業26 国内外水道事業への貢献と市内企業の海外水ビジネス展開支援

想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況
①国内研修受講者数	900人 （R2年度～R5年度 末見込み）	1,000人 （R6年度～R9年度）	373人	水道技術者研修、日水協配水管工技能講習会等の実施 ◎
②海外研修員の受入 人数	150人 （R2年度～R5年度 末見込み）	180人 （R6年度～R9年度）	123人	インドネシア草の根本邦研修、JICA課題別研修等の実施 ◎
③職員の海外派遣 人数	30人 （R2年度～R5年度 末見込み）	52人 （R6年度～R9年度）	39人	JICA草の根技術協力事業におけるインドネシア国派遣、JICA技術協力プロジェクトにおけるラオス国派遣等 ◎

3 本計画（令和6年度～9年度）の主要事業等の進捗状況

施策目標5 国内外における社会貢献

施策14 市内経済の発展と地域課題の解決への貢献

主要事業27 市内中小企業者の受注機会確保					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
市内中小企業者の受注件数割合	88.7% (2,288件/2,580件) (R4年度末)	90%以上/年	85.4%	発注件数2,499件のうち、2,135件を市内中小企業者が受注	○
主要事業28 建設現場等の働き方改革と人材育成の支援					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
①発注工事の施工時期の平準化	発注・施工時期を平準化した計画に基づく工事発注	発注・施工時期を平準化した計画に基づく工事発注	計画に基づく工事発注	四半期毎の平準化率を算出し、計画の進捗状況・達成状況を確認	○
②4団体※への研修の実施	1回/年	1回/年	1回/年	西谷再整備の現場見学と座学を実施	○

※「（一社）横浜市建設コンサルタント協会」、「（一社）横浜市地質調査業協会」、「（一社）県測量設計業協会横浜支部」、「横浜市補償コンサルタント協会」

3 本計画（令和6年度～9年度）の主要事業等の進捗状況

施策目標5 国内外における社会貢献

施策14 市内経済の発展と地域課題の解決への貢献

主要事業29 工事事故の防止					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
①工事安全大会の実施	工事所管部署 各1回以上/年	工事所管部署 各1回以上/年	工事所管部署 各1.7 回/年	請負事業者及び局職員を対象に全17部署で延べ29回実施	○
②工事安全研修の実施	1回/年	1回/年	1回/年	請負事業者及び局職員を対象とした研修の実施	○
③指定給水装置工事事業者研修会の開催	1回/3年	1回/3年 (R8年度実施)	—	R8年度実施予定	—
主要事業30 障害者就労施設等からの優先調達					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
障害者就労施設等からの調達実績額	1,560万円 (R5年度 未見込み)	前年度を上回る 調達実績額 (毎年度)	1,469万円	R5年度実績1,632万円に対し、R6年度の調達実績額は1,469万円	○

3 本計画（令和6年度～9年度）の主要事業等の進捗状況

施策目標6 持続可能な経営基盤

指標名	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績
送配水管の精緻な更新計画策定	—	策定 （R9年度）	—
男性職員の育児休業取得率 （1か月以上を推奨）	66.7% （R4年度）	100% （R9年度）	80%

施策15 施設の維持管理の強化とアセットマネジメントの推進

主要事業31 送配水管の精緻な更新計画策定に向けたデータベースの活用					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
マッピングシステム （データベース）の 改良・活用	各種データベース 構築・運用	管路更新の優先度評価の 精度向上	評価方法及び判断基 準の検討、発注準備	- 優先度の評価方法及び判断基準の検討 - マッピングシステム改良の発注準備の実施	○

3 本計画（令和6年度～9年度）の主要事業等の進捗状況

施策目標6 持続可能な経営基盤

施策15 施設の維持管理の強化とアセットマネジメントの推進

主要事業32 露出管路や管路附属設備の維持管理の強化とアセットマネジメントの推進					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
①露出管路の修繕・更新	状態監視による修繕・更新	新たなアセットマネジメント手法による修繕・更新の計画策定・実施	アセットマネジメント調査委託 水管橋長寿命化 マッピング改良	水管橋アセットマネジメント委託：詳細調査完了 水管橋長寿命化：9橋施工 マッピング改良：小口径バルブ(弁栓類)台帳システム等の開発完了	○
②管路の附属設備の修繕・更新	状態監視による修繕・更新	新たなアセットマネジメント手法による修繕・更新の計画策定・実施	鉄蓋補修・交換 仕切弁調査、ボルト交換	緊急輸送道路に設置されている平受け鉄蓋等の補修、交換：395個 ・仕切弁点検調査数：7,233か所 ・仕切弁ボルト交換：957か所	○
③新たな手法等の開発・導入	—	マンホール鉄蓋の新たな補修工法：開発完了（R6年度）	試験施工の実施	新たな補修工法の開発、試験施工の実施	○
		赤外線サーモグラフィによる二重管路の漏水探知方法：開発完了（R8年度）	実証実験の実施	実証実験により、課題が判明したため、共同研究を中止	
		鋼製水管橋の漏水補修材：開発完了（R6年度）	開発完了	鋼製水管橋の漏水補修材の共同開発	

3 本計画（令和6年度～9年度）の主要事業等の進捗状況

施策目標6 持続可能な経営基盤

施策15 施設の維持管理の強化とアセットマネジメントの推進

主要事業33 設備や配水池等の維持管理の強化とアセットマネジメントの推進					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
①電気機械設備の劣化診断	機器耐用年数経過後、状態により修繕及び更新を実施	AIによる既存データの解析及び、劣化診断結果を踏まえた修繕・更新時期見直しの検討	劣化診断手法の検討	データ収集、メーカーヒアリングの実施等、劣化診断手法の検討	○
②配水池の保全・更新計画策定	策定に向けた健全度調査中	保全・更新計画策定	計画策定に向けた準備	劣化予測及び保全・更新計画検討をR7年度に実施予定	○
③建築物の台帳作成・点検体制整備	台帳作成：0/319棟 点検方法の検討	台帳作成：319/319棟 点検方法の立案	台帳作成：61棟 点検方法の検討	建物状態調査の実施、建築物台帳の作成 劣化判定シート等の作成、点検方法の確立に向けた検討	○

施策16 将来の横浜の水道システム構築に向けた取組

主要事業34 小雀浄水場の廃止に向けた計画の策定					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
小雀浄水場の廃止に向けた計画策定	—	検討・策定	検討	計画策定のための検討体制の確立や課題の洗い出し等の実施	○

3 本計画（令和6年度～9年度）の主要事業等の進捗状況

施策目標6 持続可能な経営基盤

施策17 水道事業におけるICT活用・DX推進

主要事業35 水道事業におけるICT活用・DX推進					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
①水道ICT情報連絡会を通じたICTの導入検討	課題発信、提案技術の確認 ICTの導入検討	課題発信、提案技術の確認 ICTの導入検討	課題発信、技術提案の募集 ICTの導入検討	・第5回情報連絡会開催（R6年6月28日） ・第6回情報連絡会（R7年6月開催）に向けた課題発信及び技術提案の募集 ・ICT活用・DX推進の局内の考え方・方向性を示した「横浜水道DXの取組」を策定・公表（R7年3月公表）	○
②ICTを活用したポンプ施設の遠隔巡視導入	—	試行導入・検討	実証試験を実施（仏向ポンプ場）	<u>ドローン、センサーを活用した配水ポンプ場の巡視・点検を試行実施し、有効性を確認</u>	○
③クラウド型IoTによる遠隔漏水監視導入	—	試行導入・検討	対象路線の選定・試行導入	軌道下横断管路や国道横断管路など56箇所に設置	○
④水道施設の整備・維持管理における3Dモデルの活用	西谷浄水場の再整備における導入・活用	西谷浄水場の再整備での3Dモデル作成、活用（継続） 再整備後の維持管理での活用検討	3Dモデルの活用 再整備後の維持管理での活用検討	工事の安全性向上及び効率化に活用 修繕等に係る設計・施工の検討等、活用用途の洗い出し	○

3 本計画（令和6年度～9年度）の主要事業等の進捗状況

施策目標6 持続可能な経営基盤

施策18 組織力向上に向けた人材育成・技術継承・職場環境づくり

主要事業36 コンプライアンスの推進					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
①リスクマネジメント及び内部統制制度の運用	リスクの抽出／評価、行動計画の策定、行動計画のモニタリング、最終的な自己評価（毎年度）	リスクの抽出／評価、行動計画の策定、行動計画のモニタリング、最終的な自己評価（毎年度）	リスクの抽出／評価、行動計画のモニタリング、最終的な自己評価等の実施	・内部統制制度（Yモニ）の取組の実施 ・リスクコミュニケーション研修の実施	○
②不祥事防止研修の実施	各所属 1回/年	各所属 1回/年	各所属 1回/年	リスクマネジメントの取組と不祥事防止研修を統合し、「リスクコミュニケーション研修」として実施	○
主要事業37 人材確保・育成と技術継承					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
①水道技術職の受験勧奨（訪問・電話・資料送付等によるアプローチ）	86校/年 （R2年度～R5年度平均）	100校以上/年	110校/年	訪問、電話、電子メール、リーフレット郵送で受験勧奨を実施	○
②人材育成方針の策定等	方針策定済	方針に基づく人材育成の実施・振り返り、方針の改定（R6年度～R9年度）	現状の検証、人材育成方針の決定	水道技術職の役割、育成方法についての検討、「水道技術職育成方針」の策定	○

3 本計画（令和6年度～9年度）の主要事業等の進捗状況

施策目標6 持続可能な経営基盤

施策18 組織力向上に向けた人材育成・技術継承・職場環境づくり

主要事業38 職員のワーク・ライフ・バランス、女性活躍、いきいきと働き続けられる職場づくりの推進					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
①1月あたりの超過勤務時間が80時間超の人数	0人 (R5年度末見込み)	0人 (毎年度)	2人	能登半島地震被災地支援対応等	△
②テレワーク環境の整備	専用端末40台による実施	・専用端末による実施を継続 ・新たな環境整備や制度運用について検討・実施	42台	テレワークのほか、モバイルワークでの利用開始	○

3 本計画（令和6年度～9年度）の主要事業等の進捗状況

施策目標6 持続可能な経営基盤

施策19 効率的な事業実施に向けた体制づくり

主要事業39 施設の更新・耐震化における効率的・効果的な事業手法の検討					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
①配水ポンプの更新・維持管理における官民連携手法の導入検討	—	検討 （R6年度～R9年度）	導入可能性調査の実施	機械電気設備の更新・維持管理における官民連携手法の導入可能性調査の実施	○
②小口径管路の更新・耐震化事業における設計業務の委託化	実施	・効果検証、委託拡大の方向性決定（R6年度） ・委託拡大（R7年度～）	・効果検証 ・委託拡大の方向性決定	・口径50mmの設計業務委託については積算方式見直しの方向性を決定 ・地下埋設物などの事前調査業務委託については委託件数拡大の方向性を決定	○
③小口径管路の更新・耐震化事業における監督業務の委託化	導入検討	・調査・検討（R6年度～R8年度） ・委託の方向性決定（R9年度）	調査・検討	口径50mmバルブ操作の試行実施	○
④大口径管路の更新・耐震化事業におけるDB方式等の導入	試行工事契約一部検証	・試行工事実施・検証（R6年度～R7年度） ・検証結果を踏まえた導入検討（R8年度～） ・その他官民連携手法の検討（R6年度～R9年度）	試行工事実施・検証	試行工事（立坑築造工）での効果検証の実施	○

3 本計画（令和6年度～9年度）の主要事業等の進捗状況

施策目標6 持続可能な経営基盤

施策19 効率的な事業実施に向けた体制づくり

主要事業40 効率的な執行体制の構築					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
効率的・効果的な執行体制の構築	検討	実施	検討、一部実施	・西谷浄水場の再整備に係る運転管理部門・工事施工部門の執行体制の見直し ・本庁部門や水道事務所等の執行体制の見直しを検討	○

施策20 経費削減・財源確保の取組

主要事業41 事業見直しによるコスト削減					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
コスト削減の取組	61億円 （R5年度 未見込み）	40億円 （R6年度～R9年度）	14.3億円	配水管のダウンサイジング等	◎
主要事業42 保有資産の有効活用等による財源確保					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
保有資産の貸付、売却等による財源確保	21億円 （R2年度～R5年度未見込み）	16億円 （R6年度～R9年度）	3.7億円	不動産の活用による収入（貸付・売却）等	○

3 本計画（令和6年度～9年度）の主要事業等の進捗状況 （工業用水道事業）

施策目標2 災害に強い水道

指標名	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績
東寺尾送水幹線の更新率	7% （R5年度末見込み）	50% （R9年度末）	26%

施策1 工業用水道施設の更新・耐震化

主要事業1 東寺尾送水幹線の更新・耐震化					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
東寺尾送水幹線の更新延長	1工区施工中 （R2年度～R5年度 未見込み） （累計 0.8km）	1工区・2工区施工完了 4.9km （R6年度～R9年度） （累計 5.7km）	2.2km	1工区 2.2kmの施工完了	○

3 本計画（令和6年度～9年度）の主要事業等の進捗状況

施策目標6 持続可能な経営基盤

指標名	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績
相模湖系統への統合に向けた施設整備	—	工事着手（R9年度）	—

施策2 工業用水道施設の再構築

主要事業2 相模湖系統への統合に向けた施設整備					
想定事業量	計画策定時点	目標値（R9年度）	R6年度実績	進捗状況	
統合に向けた施設整備計画の策定	—	策定（R7年度）	検討	基本計画策定に向けた施設整備規模の検討	○

4 今後の取組の方向性

計画1年目となる令和6年度は、計画初年度として目標達成に向けた取組について、おおむね進めることができます。

一部の事業については、進捗に遅れがでていますが、令和9年度までの本計画期間中の目標達成に向けて取り組んでいきます。

物価高騰や担い手不足など、今後も厳しい経営環境が見込まれますが、引き続き、水道局の使命である、安全で良質な水を将来にわたり安定して供給していくため、水道事業の最適化に向けて事業を進めていきます。